

みんなの ひろば



※上のイラストは、題字と同じ内容を指文字と手話で表したものです。

主な内容

- 東日本大震災いわて子ども支援センターから………2
- ボランティア活動の紹介、バリアフリー映画会………3
- てしろもりの丘の紹介………4、5
- オモイをカタチに基金～マッスルスーツの活用～… 6
永年勤続表彰式、実践報告・実務研究論文入賞!!
- 各施設・事業所からのお知らせ……… 7
- 第28回岩手県障がい者文化芸術祭……… 8

第136号

令和3年2月26日
発行

初めまして、てしろもりの丘です



令和2年10月24日(土)「てしろもりの丘完成記念式典」の様子

今号では、手代森の
緑豊かな高台に誕生した
「てしろもりの丘」を
紹介します。

※4、5ページに関連記事掲載



シンガーソングライターの新沢としひこ氏による保育支援者研修会「歌がもたらす 心の栄養」
優しくパワフルな歌声に、たくさんの元気をいただきました。(H27.10.10)



久慈市で開催された、室内型遊び場わんぱくひろば100回記念イベントには、736人も参加者が集まりました。(H29.11.4)

東日本大震災いわて子ども支援センター 10年間の活動を振り返って



造形作家の田代耕司氏(宮古市出身)による保育支援者研修会。創作活動を通して、参加者同士のコミュニケーションも深まりました。(H29.1.11)



小百合幼稚園(宮古市)のみなさんと船越公園(山田町)へバス遠足。目の前に広がる公園に、子どもたちも駆けだしました。(H30.10.5)

東日本大震災いわて子ども支援センターは、平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波により、壊滅的な被害を受けた岩手県の沿岸地域を対象として、遊びや体験を通して、被災地の子育て支援をおこなうため、岩手県から委託を受け、今年度まで当法人が運営してきましたが、この度、復興・創生期間が終了することにより令和3年3月31日をもって事業を終了することとなりました。

これまで実施してきた活動は、津波被害及び復興工事の影響で不足している遊びへの対応として大型遊具等を設置した室内型遊び場の開催や、保育所を中心とした遊びを体験するためのバス遠足支援のほか、被災地に勤務する保育支援者を対象とした保育技術の向上とストレス軽減等の研修会、仮設で暮らす親子や仮設園舎等で生活する園児を対象とした講座等に関係機関と連携し、継続して



東日本大震災
いわて子ども支援センター
所長 高橋 俊英

開催してきました。
これらの事業の取組は、沿岸被災地域の方々のいつも前向きな姿に支えられ、笑顔で園児に接する保育士や遠路はるばる駆けつけてくださった講師の方々のご協力により活動を実施することができました。

沿岸地域の保育所・こども園・幼稚園・子育て支援センターをはじめ、関係団体のご協力、ご支援に心より感謝申し上げます。



たばしね学園 ボランティア活動の紹介

私たちたばしね学園は「きずなの会」と称した自治会活動を行っています。その一環として今年から「小さなボランティア」という活動を始めました。月1回行われる集会で、児童達からボランティアの内容や日時について意見を募り実施しています。今年度の活動としては、寮棟内の窓ふき、床ふき、寮棟外の窓ふき、蜘蛛の巣取り、草取り、ごみ拾いを行っています。あさひ通り、のぞみ通りの児童達に写真撮影を依頼し、その写真を使用してのポスター作りも実施しており、それも児童達の楽しみの一つになっています。



手作りポスターで普及活動



おいちちゃん、がんばれ!

児童達からは「他の寮棟の子どもと一緒でできて楽しい」「窓ふきとか普段できないので貴重な体験になっている」「自分もポスターに載せて欲しい」との言葉も聞かれています。嫌々活動に参加する児童はおらず、皆、前向きに取り組んでいるのがとても印象的です。また、児童達からは地域に出てゴミ拾いや草取りをしたいとの要望もでており、今後地域に進出し、活動の幅を広げていけたらと考えていま



窓や床を丁寧に磨きました。



す。また、活動の様子については、たばしね学園のホームページに写真をアップしていますので是非ご覧になってください!

県立視聴覚障がい者情報センターでは、毎年バリアフリー映画の上映会を開催しています。バリアフリー映画とは場面の状況や出演者の動きを説明するナレーション(音声解説)とセリフや効果音を文字にした日本語字幕がついた映画で、視覚や聴覚に障がいがある方も一緒に楽しめます。この上映会を楽しみに、毎回参加する方もいらっしゃいます。

バリアフリー映画会

岩手県立視聴覚障がい者情報センター



バリアフリー映画イメージ



上映前の挨拶を手話通訳しています



広い会場でソーシャルディスタンスを保ちました

今年度は11月29日(日)に開催し、「長いお別れ」という作品を上映しました。参加した方からは「音声ガイドは初めての体験だったが、全然気にならなかった」「もっとバリアフリーの作品が増えるといい」といった声をいただきました。

今後も、障がいの有無にかかわらず、皆で楽しめるバリアフリー映画会を開催していきたいと考えています。

福祉型障害児入所施設 てしろもりの丘よつば

利用者の皆さんはユニットで個室となり、落ち着いた環境の中で伸び伸びと生活しています。今後も一人ひとりへのよりそい、社会とのつながり、健やかなはぐくみを大切に、児童が安心して成長できるよう職員一同努めてまいります。



調理実習楽しかったです!美味しそう~!!



ブランコ楽しいね!!

障がい児の入所利用施設であり、日常生活の指導及び自立生活に必要な知識技能の付与を行うことを目的とした施設です。

- 入所施設定員 40人
- 短期入所定員 2人
- 日中一時支援定員 12人

てしろもりの丘 ~素晴らしい景観に包まれて~

令和2年9月23日開設



「みたけ学園も楽しかったけれど、新しい施設は高い所にあつて景色がいい。自立した大人になれるよう頑張りたい」と利用児童のKさんが10月24日の施設完成式典の時に記者の取材に答えていました。なるほど、施設から目の前に広がる雄大な景色に心が癒されます。嬉しいことに、てしろもりの丘が「高台に開設された建物が自然に調和している」として本年度の盛岡市都市景観賞に選ばれました。引越しをして3ヶ月が経過しましたが、これからが、利用者さんの自立を支える私たち職員の頑張りどころとなります。どうぞよろしくお願いいたします。

施設長 小田島 守

障害者支援施設 てしろもりの丘あおば

知的障がい者の重度棟で、計30名の方が入所利用されています。リンゴ畑に囲まれた閑静な環境の中、毎日賑やかなながらも、広々とした居住空間でゆったりとした日々を送っています。



スヌーズレン室でリラックスタイム!!
綺麗だね。



美味しくなれ!美味しくなれ!
ちゃんと混ぜてる?
みんな大好き、調理実習です。

入所利用していただく障がい者に対し、主に夜間に食事や排せつの介護、生活等に関する相談及び助言その他必要な日常生活の支援を行うほか、日中の実施サービスとして、生活介護事業を提供する施設です。

- 入所施設定員 30人
- 生活介護事業定員 30人
- 短期入所定員 2人
- 日中一時支援定員 5人



児童デイサービスセンター 「あっぷるぱい」

「あっぷるぱい」...リンゴの赤色から元気、パイの網飾りから職員のチームワークを表しています。アップルパイの美味しさのように、幸せな気持ちを感じられ、利用者様が安心できる場所を目指してまいります。



この光...見入ってしまう♪



風船ベッドでねてみたよ♪

授業の終了後又は学校の休業日に、デイサービスセンターに通っていただき、生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進その他必要な支援を行う事業所です。

- デイサービス定員 10人
- 日中一時支援定員 5人

おもちゃ図書館

てしろもりの丘のおもちゃ図書館では、様々なおもちゃで子どもたちが日々思い思いの遊びを楽しんでいます。地域の皆様への一般開放に向けて準備が整いましたら、ホームページ等でお知らせして参ります。



おもちゃに夢中です!!

相談支援事業所「らいふ」

相談支援事業所「らいふ」です。盛岡市と矢巾町にお住いの方で、障がいサービスを利用する幼児から高齢者までの幅広い年代の方を対象にしています。希望する生活が送れるように一緒に考えていきたいと思っております。



たくさんお話を聞かせて下さい!!

相談支援専門員が障がい者や障がい児の保護者などからの相談に応じ、情報提供、連絡調整を行ったり、障がい者などの意向を勘案したうえでサービス利用計画を作成し、事業者などとの連絡調整を行う事業所です。



各施設・事業所から

コロナ禍で様々な制限がある中、少しでも利用者さんに楽しんでいただけるような活動を提供しています。今号では、施設事業所の新しい取り組みや、活動についてご紹介します。



やさわの園

やさリンピック

当園では秋の初イベント「やさリンピック」という運動会を企画。利用者さんが走ってドーナツを食べたり、タスキを繋ぐ駅伝に挑戦！係長の思いつきで企画になかった職員の参加もありました。利用者さん職員が一層盛り上がるイベントとなりました。



利用者さんはグラウンド2周！職員は50周…汗。

障害者支援施設 やまゆり

新しい取り組み～タクティールケア～

新たな日中活動として「タクティール(触れる)ケア」に取り組んでいます。ご利用者の手足などを包み込むように撫でることで不安や痛みを和らげ、それと共により良いコミュニケーションを図る機会にもなっています。



障害者支援施設 りんどう

奥中山高原駅の装飾

地域公益活動として、利用者の皆さんと一緒にステンドグラス風の飾りを作り、昨年より奥中山高原駅の窓を装飾させていただいています。今年は銀河鉄道の「銀河」をイメージし、星形にしてモビールを作りました。駅を利用される皆様に楽しんで頂けたらと思います。



きれいに塗れたよ～



奥中山高原駅の待合室に飾りました。

児童養護施設 和光学園

クリスマス会

和光学園では、毎年園内でクリスマス会が行われます。今年は新型コロナウイルス感染症の流行もあり、来賓は呼ばずに実施しましたが、子ども達の余興や、おいしい食事に、会場は大盛り上がりで、楽しいクリスマス会になりました。



メリークリスマス！



プレゼントもらったよ☆

地域活動支援センター「ひこうせんいわて」「ふらっと」

「ひこうせんいわて」「ふらっと」を紹介します。地域活動支援センターは岩手町、八幡平市から委託された地域で暮らす障害のある方が誰でも利用できる活動の場です。二つの事業所では、利用者の声を取り入れた活動を行っています。



八幡平市内への社会見学



利用者が講師となり干し柿作り



マッスルスーツの使い方を学んでいます。



研修の様子を撮影しています。

オモイをカタチに基金

～マッスルスーツの活用～

障害者支援施設 かたくり

かたくりでは、オモイをカタチに基金で購入させていただいたマッスルスーツについて研修会を開き、活用方法を学びました。さらに、多くの方にマッスルスーツを知っていただくために、研修の様子をYouTubeの中山の園総務部チャンネルで公開しております。また、他の事業所への貸出を行っており、たくさんの事業所で活用していただいております。現在、貸出中ということもあり、かたくりでの実務活用には至っておりませんが、今後、より良い利用者支援や働きやすい職場環境の構築に生かしていきたいと思っております。

永年勤続表彰式

令和2年11月17日、令和2年度岩手県社会福祉事業団職員永年勤続表彰式を開催しました。平成7年度採用の11名が25年の長きにわたる社会福祉事業の進展に尽くした功績が讃えられ、佐々木理事長から表彰状と記念品を授与されました。

受章者代表として矢吹相談支援部長（療育センター）からは、同僚への感謝とともに「福祉職の働き甲斐を見せられるよう励む」との挨拶がありました。

今後一層のご活躍をお祈りしております。



つつじのみなさんおめでとうございます!!

実践報告・実務研究論文入賞!!

今年度、全国社会福祉事業団協議会実践報告・実務研究論文に当事業団からは3編応募し、つつじの論文が入賞しました。

佳作

「見えない安心を備えよう～より安全な環境を目指して～」

第28回 岩手県障がい者文化芸術祭

作品展示

令和2年11月12日～29日まで、ふれあいランド岩手エントランスを会場に「第28回岩手県障がい者文化芸術祭応募作品展」を開催しました。新型コロナウイルス感染症の懸念もありましたが、「ぜひ出品したい」というお声をいただき、昨年度よりも多い355点もの作品が寄せられました。展示会場は各部門バラエティーに富んだ賑わいを見せ、約1,300人の方にご来場いただくことができました。コロナ禍に負けない力強さを、皆さまの作品から感じ取ることができたように思います。



今回の作品応募数は、
 絵画・書道・写真・文芸・工芸部門合わせて355点



「ふれあい音楽祭2020」として、
 特設ページを開設

ふれあい音楽祭2020

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止により、Webを舞台とした「ふれあい音楽祭2020」を開催しました。例年ふれあい音楽祭に参加くださる方から発表自体が初めてという方まで動画のご応募をいただくことができ、合唱や弾き語り、和太鼓等様々なジャンルのパフォーマンスを掲載することができました。

初の試みであり特設ページの開設に至るまで試行錯誤が続きましたが、今後の発表機会拡大の大きな足掛かりとなったように感じます。

受賞者表彰

例年は、ふれあいランド岩手を会場に表彰式を開催しておりましたが、参集による表彰式の開催は感染のリスクとなるため、所属される事業所等を訪問し最優秀賞受賞の方のみ賞状伝達を行いました。

大きな会場での伝達とはいきませんでした。それでも賞状を授与された皆さんの嬉しそうな様子や、「これからも創作活動をやりがいにしていきたい」という意気込みを伺うことができ、今後障がい者文化芸術活動を取組む上での励みとなりました。



応募作品展書道部門最優秀賞の堀内さん(中央)
 (盛岡市民福祉バンクにて)

